

ディボーション質問表

12日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かしたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

13日(月) 士師記 19:22~30

1. 男女関係と性別の乱れが引き起こした悲しい事件は、不親切だけでなく、邪悪なギブスの人たちによるものでした。この時代、女性はどのような立場であったと予想されますか(23、25節)? 私たちが持つべき、女性の立場はどうあるべきでしょうか? また、住み良い環境を築くためにどのような品性を持つべきでしょうか?

14日(火) 士師記 20:1~23

なんとか保たれている道徳

1. レビ人の話を聞き、裁こうとイスラエルは動きました。まだ全体の道徳は地に落ちてはいませんでした。これに対してベニヤミン族の答えは何でしたか(13、16節)?
2. ベニヤミンの兵士は非常に強く、イスラエル全軍は負けてしまいます。全軍に対する神さまの命令は、何ですか(23節)?
→非道な事がまかり通り、その邪悪な行為を続けている人は非常に力があり、太刀打ちできないと思い込んでいる事柄はないだろうか? 全知全能の神さまが共におられることを確信し、ただ神さまの御心を行うことに専念しているだろうか?

15日(水) 士師記 20:24~48

1. 負けたイスラエルは、再びベニヤミン族に立ち向かいます。どうなりましたか(25節)?
2. この戦いから何を学びますか? イスラエルは略奪ではなく、何をしましたか(47、48節)?

16日(木) 士師記 21:1~25

めいめいの自分の目に正しいことを中心とした社会の答え

1. 聖絶されそうになったベニヤミン族はどのようにして存続を維持しましたか? 神の前にベニヤミン族に嫁がせないと誓ったイスラエルはどのような案を出しましたか(1、23節)?
2. 21章は士師記の結論です。どのような結論ですか(24、25節)?

17日(金) ルツ記 1:1~10

ルツ記はいろいろな「愛」をテーマにした書です。ルツとナオミの友情、ボアズのいつくしみと愛情、異邦人の女ルツに対する神の計画とあわれみ等々が記されています。ルツの「落ち穂拾い」の場面は、詩的で美しいのですが、それだけではなくルツのたくましさや素直な大胆さも主要なテーマです。

1. エリメレク、ナオミと二人の息子マフロンとキルヨンは飢饉にみまわれ、死海の東側モアブ人の地へと移住しました。約束の地に住んでいながら、このようになってしまったわけを考えてみましょう。なおこの時代は士師記の終盤にあたります。彼らの気持ちはどうだったのでしょうか。
2. ナオミ達がモアブの地に住んだ十年のうちに、夫と二人の息子達は死に絶えてしまいました。しかもそこにユダの地が経済的に持ち直した、というニュースが入り、ナオミは嫁達とともにその地を去る決心をします。さて自分の家族のもとに帰れと言われたのにオルパとルツは最初ふたりとも「ついて行く。」と言います。このときのオルパとルツの心を洞察してください。
3. あなたは思い切った決断をしたのに裏目に出た事がありますか? そのことから何か学べましたか?

18日(土) ルツ記 1:11~22

1. オルパは帰りましたがルツは残りました。二人の行動の違いは何に原因があると思いますか?
2. ルツの強さには秘訣がありました。それをあなたの言葉で短く言い表してみてください。
3. 戻ったばかりのナオミの心境と似通った気持ちになったことはありますか?